SANEI　　T-V11-13-A4 ADH

フットバルブ

V11-13

施工・取扱説明書

施工、ご使用の前にこの説明書をよくお読みのうえ、
正しく施工、ご使用ください。

お客様へ

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。
- 水栓の取付け、使用については、水栓側の「施工・取扱説明書」をお読みください。

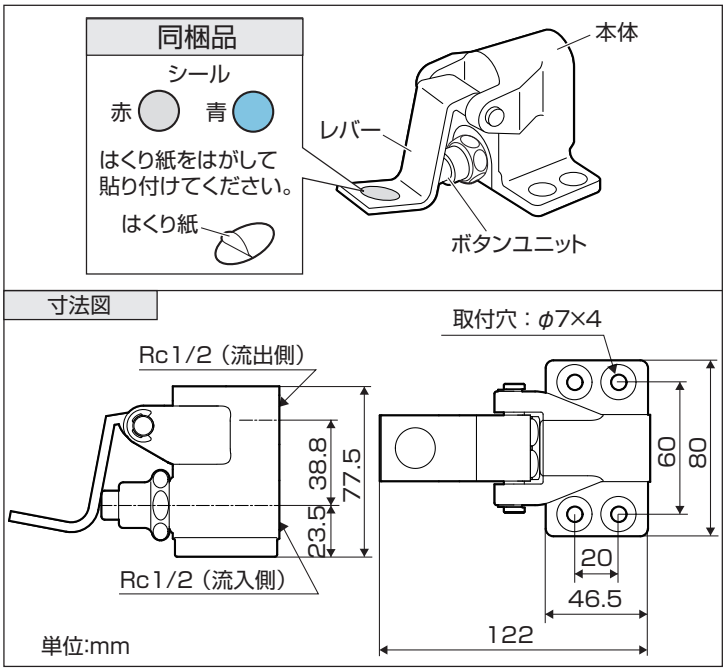
工事店様へ

施工後、この説明書をお客様へお渡しください。

本製品について　フットバルブについて

本製品は単水栓専用です。流出側に混合栓は使用できません。

本製品について　各部の名称・寸法図



施工について　安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がないことを確認すると共に、工事店様は説明書に沿って、お客様にお手入れの仕方を説明してください。
- 施工は、水道法、その他の関係する法規などに従って行ってください。

⚠ 注意

- **修理技術者以外の人は、分解しないでください。**
  故障や水漏れの原因になります。
- **製品に強い力や衝撃を与えないでください。**
  故障や水漏れの原因になります。
- **流入側と流出側を逆に配管しないでください。**
  正常に作動せず、止水しなくなる事があります。
- **フットバルブの流入側に止水栓を設けてください。**
  取付け後の保守点検のために必ず止水栓を設けてください。
- **フットバルブの流入側に水撃低減の処置をしてください。**
  故障や水漏れの原因になります。
- **フットバルブを取付ける際は、つまずかないような場所に取付けてください。**
  転倒などによるけがの原因になります。

⚠ 注意

- **給湯温度は60℃より高温で使用しないでください。**
  60℃より高温でご使用になると、器具の寿命が短くなり、水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- **屋外や凍結が予想される地域には取付けないでください。**
  凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。凍結のおそれがある場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
- **フットバルブでアースをとらないでください。**
  故障や水漏れの原因になります。

施工について　適切な使用条件

〔水圧について〕

	最低必要水圧	最高水圧
給水・給湯圧力	0.05MPa（流動圧）	0.75MPa（静水圧）

- 給水・給湯圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2～0.3MPa程度に減圧してください。

〔給湯機について〕

使用最高温度	60℃以下

- 給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 誤操作などによるやけど防止のため、42～60℃給湯をおすすめします。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。

⚠ 注意

高温の湯をご使用の場合は、本体に直接肌を触れないでください。
やけどをするおそれがあります。

〔水質について〕

使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水

施工について　施工時のご注意

- 配管内の掃除
  取付前に必ず通水し、配管内のゴミなどを洗い流してください。
- 取付後の保守点検のために必ず止水栓(別売)を設けてください。
- 取付ける床面が平坦であることを確認して下さい。
  凹凸がある面で取付けるとガタツキ・水漏れの原因になります。
- 取付ける床面の防水処理・排水処理を実施してください。
  水漏れが起きた場合、損害拡大の原因になります。
- 取付ける床面に十分な強度があることを確認してください。
  強度不足の場合、床が破損するおそれがあります。

施工について　施工手順

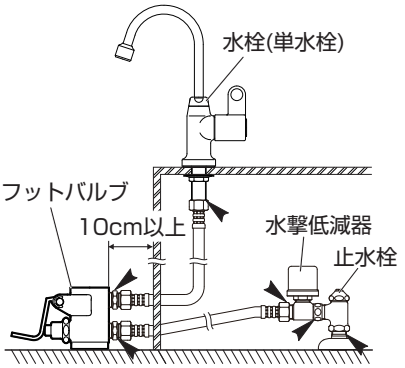
①止水栓を閉じてください。
②壁から10cm以上離した状態でフットバルブをアンカーボルト等で床面に固定してください。
③フットバルブ流入側と止水栓との間に水撃低減器(T1670：別売)を設けた上で配管してください。
④フットバルブ流出側に水栓を配管してください。

- フットバルブの流入側には水撃低減の処置をしてください。
- 振動をおこさないように配管は十分に固定してください。
- 配管の無理な曲げによる荷重がかからないよう注意してください。

製品の配管例

⚠ 注意

- **各接合部は、シールテープやパッキンで確実に接続してください。**
- **施工完了後、止水栓を開け通水し、作動および各接合部の水漏れを点検してください。**



ご使用について　安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ 警告

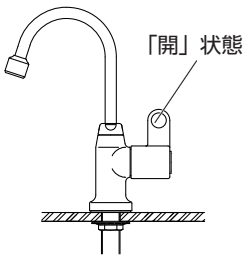
- **靴をはくなど、足を保護した状態で操作してください。**
  けがをするおそれがあります。
- **手では操作しないでください。**
  けがをするおそれがあります。

⚠ 注意

- **修理技術者以外の人は、分解しないでください。**
  故障や水漏れの原因になります。
- **製品に強い力や衝撃を与えないでください。**
  故障や水漏れの原因になります。
- **給湯温度は60℃より高温で使用しないでください。**
  60℃より高温でご使用になると、器具の寿命が短くなり、水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- **凍結が予想される場所でご使用になる場合は、凍結予防を確実に実施してください。**
  凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- **洗剤・薬品が本体に付着した場合は、すぐにきれいに拭きとってください。**
  本体の割れや変色変質の原因となります。
- **定期的に、配管周りの水漏れや、ガタツキがないか確認してください。**
  劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- **長期間使用しない時は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。**
  水漏れなどの事故の原因になります。

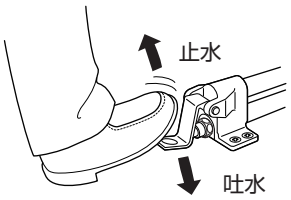
ご使用について　吐水・止水

水栓のハンドルを開け、水を出せる状態にしてください。



フットバルブのレバーで吐水・止水操作ができます。

レバーを足で踏む ➡ 吐水
レバーから足を離す ➡ 止水



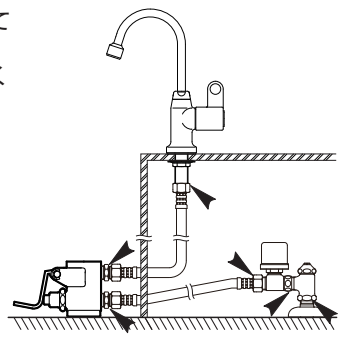
⚠ 注意

けがをするおそれがあるため、必ず足で操作してください。
また、靴をはくなど足を保護した状態で操作してください。

定期的な点検　配管周りの水漏れ・器具のガタツキ

- ●配管周りの水漏れがないか確認してしてください。（使用時）
- ●器具のガタツキがないか確認してください。（月に1回）

漏水を確認した場合は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。

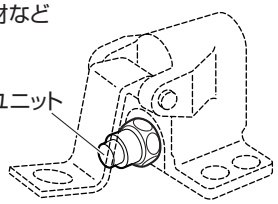


日頃のお手入れ　定期的な部品交換

安全・快適にお使いいただくために、定期的な部品交換をおすすめします。

ボタンユニットの交換

ボタンユニットの劣化により水漏れして、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



※交換時期は、使用環境などにより異なります。
※部品交換を依頼される方は「アフターサービス」を参照してください。

こんなときは　故障？　その前に

修理を依頼される前に、下の表に従って点検してください。

現象	点検項目	処置
水がでない	水栓のハンドルは開いていますか。	水栓のハンドルを開ける。
	止水栓は十分に開いていますか。	止水栓を開く。
	断水中ではありませんか。	回復するまで待つ。
止水できない	ボタンユニットの作動部分に何か挟まっていませんか。	挟まっているものを取り除く。

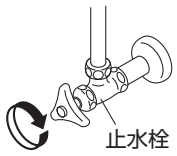
以上の点検を実施されても不具合がなくならない場合は、お手数ですがお買い上げの販売店（工事店）に修理をご依頼ください。

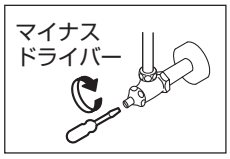
漏水した場合の処置

漏水した場合は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。

止水栓の閉め方

カウンター下に止水栓がある場合、ハンドルをまわして水を止めてください。





元栓の閉め方

元栓ボックス(メーターボックス)のふたを開け、元栓を右にまわして閉めます。
※元栓を閉める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。
※閉栓後は近くの水栓などで給水が止まっていることを確認してください。
※一部の地域では左まわしの場合があります。
※元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。

■ 戸建て住宅などの元栓ボックス：

主に玄関やガレージ付近の地面にあります。
古い戸建て住宅の場合は道路に円形のキー式ボックスがあったりします。

●キー式

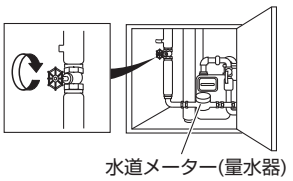


●ハンドル式



■ マンションなどの中高層性住宅の元栓ボックス：

主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の扉があり、電気やガスのメーターと共に水道メーターと元栓があります。
お隣と共通のボックス内で元栓の場所がわからない場合は、水道料金の検針票などでご自分の水道メーター番号を確認してください。



アフターサービス

〔部品のご購入や修理の依頼、ご相談は〕

●まずは、お求めの販売店（工事店）へご相談ください。
ご不明な場合は当社お客様相談室へお問合せください。

株式会社 三栄水栓製作所
〒537-0023　大阪市東成区玉津1丁目12番29号
お客様相談室　大阪　(06)6976-8661
東京　(03)3683-7496
フリーダイヤル　0120-06-9721